

# 一般社団法人 全国ホームホスピス協会 社員総会

2022年11月28日(月) 午後5時00分～  
於：オンライン・協会事務局



〔第10回全国合同研修会 in 宮崎〕

## 決議事項

第1号議案 第8期(2021年10月1日～2022年9月30日)

事業報告書承認の件

第2号議案 第8期(2021年10月1日～2022年9月30日)

決算報告書承認および監査報告の件

第3号議案 役員改選

## 報告事項

1. 第9期(2022年10月1日～2023年9月30日)事業計画及び予算

## 1. まとめ

◎コロナ禍の中で、オンラインでの会議、研修、レビューの活動が続きました。

コロナ感染の波は次々に新たな株に変化し、なかなか収まる気配が見えません。協会の理事会は基本的にオンラインで、計8回開催しました。理事会では、全国大会や実践者育成塾、ホームホスピスの学校などの研修の日時、会場、講師の選定、スケジュールなどを審議し、テーマや内容を決定します。

また、ホームホスピス開設に向け、家が見つければ現地に視察し、改築するためのアドバイスなども、理事を派遣して行っています。

今期で第10回を迎えた全国ホームホスピス合同研修会は、感染予防をしながら、会場の参加人数を制限して、オンライン参加と併用するハイブリッド方式で実施しました。「つながりを編み出す～地域共生社会とは」をテーマに、講演とシンポジウムは、失われた人のつながりをこれからどう繋ぎなおすのかディスカッションで充実した内容でした。全国のホームホスピスの運営者が、久しぶりに集い交流をすることができ、やはり、生で出会うのは違うねと実感しました。同時にホームホスピス宮崎で新しく開設した「HALEたちばな」の見学会も行うことができました。

ホームホスピス実践者育成塾は、通常であれば宿泊研修という形なのですが、オンラインのみの講座が2年続き、今期は実際に現場で体験して学ぶ講座に特化して、実技体験とオンラインも含めて実施しました。会場の手配などを準備してくださったホームホスピス小松では、家の改修工事が大詰めを迎えており、その様子も見学できました。

レビュー(評価)は、現地に訪問した2団体、5年が経過し再レビューが必要な5団体をオンラインで実施しました。レビューの機会は、あらためて日頃の実践を再確認し見直す良い機会となりました。本来ならば、年間10か所の団体を現地にてレビュー実施予定でしたが、県外への移動を伴うために、常にコロナ感染状況を思案しながらとなり、来期に繰り越すことになりました。

◎「ホームホスピスの学校」の受講生の中から、開設の準備が始まりました。

2021年6月、「つくる」コースと「まなぶ」コースを設定し開講したホームホスピスの学校は、第2期、第3期と重ねるごとに、内容がその都度フラッシュアップされて充実しています。「つくる」コースは、理念や哲学を座学①で学び、その後、面接を経て実際の運営や管理についての座学②に進むという2段階方式で、すべてオンラインです。受講の申し込み時に、立ち上げるのに一人ではできない仕事なので、できるだけ3名位で受講して欲しいとお願いしました。理念を共有する仲間がいることは、開設にあたっての大きな力となります。

また、仕事の都合などによりライブで受講できなくても、アーカイブで動画が配信されますので、それを受講しレポートを提出し評価を受けるという研修形態は、仕事をしながら受講する方にとっては受講しやすい形になっています。そして、座学②を修了後、受け入れ先の認定ホームホスピスで実習が始まりました。実習後には組織のつくり方から始まり、事務研修も協会事務局で実施しました。物件が見つければ、理事会で実際に足を運び、家の間取りなどでは、山口先生にアドバイスをもらいました。しかし、視察後にハードがホームホスピスの理念に馴染まないのではと、ホームホスピスとしての開設を断念した箇所が1団体あり、理念と環境をどう一致させるのかを実際の現場で悩み審議し、

新たな地域ホスピスとして実践していただければとエールを送りました。

◎ホームホスピスが新たに誕生しました。

日本財団ホームホスピスリーダー養成プログラム研修生が、かねてから準備中でしたが、(兵庫県姫路市に「ホームホスピスおはな」、福岡県糸島市に「ホームホスピスしずく」、石川県小松市に「もうひとつの家ややさん」が開設されました。2軒目以降の開設として、和歌山市「紀州やわらぎの家」(2軒目)、熊本市「われもこう」移転、栃木県大田原市「栃木かあさんの家」(3軒目)、東京都足立区「ホームピアむつみあい」(4軒目)が開設されました。

また、大阪府寝屋川市、豊中市、鹿児島県、福岡県、岡山県、兵庫県、三重県、神奈川県、新潟県、東京都、北海道では、家の改修や地域への働きかけなど、開設の準備が始まっています。

◎コロナ感染予防対策と、生活を守りぬくケアの実践は、緊張の日々でした。

コロナ感染が第7波と続き、インフルエンザとのダブル感染症で第8波になるのではと懸念されています。オミクロン株は、感染力が強くほぼ市中感染が主流となり、感染予防だけでは完全に締め出すことはできない状態になりました。今期、実際に住人やスタッフにコロナ感染陽性者が発生した団体の報告も受けました。感染リスクの高い高齢者が多いホームホスピスですが、入院ではなく自宅・施設での療養になり、PPE装着し過酷な環境での介護となりました。現場では、日常的に介護職の余裕はなく、緊張を強いられたケアになりました。

換気、日光、清潔の環境整備は、まさに感染症対策の要です。小規模であるホームホスピスは、民家という空間そのものが感染症にとって良い環境にあると言えます。それでも、これまでに存在していないコロナウイルスであり、その発生のメカニズムは解明されていません。どんなに対策を講じていても、いつ、どのように感染するのか防ぎようのない状態になりました。報告によると、どのホームホスピスでも重症化することなく療養が解けたことは幸いでした。

そして、この様なコロナ感染の状況下であっても、全国のホームホスピスでは、ご家族の完全な面会謝絶をせず工夫していました。ターミナル期には寄り添って悔いなく看取れるように支援がなされていました。今後、コロナ感染症の扱いは、通常の風邪症状と同等の扱いになると言われていますが、コロナ禍以前の状態に戻るには時間が必要です。全く元の状態に戻るというより、感染症と付き合っていく時代になるでしょう。20年後の超高齢化社会は、多死社会のピークだと言われて、今後、死亡者数は120万人から2040年には167万人に増加すると言われていますが、160万人死亡に対応する病床を新たに整備することはできないでしょう。高齢者の「住まい」での看取りを整備し充実するしかないと考えます。そこにホームホスピスの役割が益々重要になってくると思われまます。

◎メットライフ生命のCSR活動に、ホームホスピスの住人の聞き書きが好評です。

前期にメットライフ生命のホームホスピスに対する助成で、コロナ感染対策の物品や空気清浄機などの機器を、全国の団体会員に助成しました。今期は社員の手作りで雑巾の寄付を受け、全国の団体に配布いたしました。また、直接ホームホスピス住人の方々へのボランティア活動ができないだろうかとこの相談を受け、聞き書き講師の小田豊二氏に協力を依頼し、オンラインでの聞き書き活動が始まりました。3軒の住人の方々のお話を社員の方がオンラインで聞き、それをまとめて冊子にしてご本人に渡されました。完成して4か月後に亡くなられた方もあり、ご家族にとってかけがえのない贈り物になりました。

## ① 評価及び認定

### ◎レビュー(認定審査)の実施

#### ・レビュー

- 2021年10月30日 結びの家くるみ (現地視察)
- 5月 6日 風の葉 (現地視察)
- 8月19日 風の葉 (オンラインヒアリング)



[現地視察]

#### ・5年更新レビュー (オンライン)

- 2022年1月25日 たんがくの家
- 2月10日 われもこう
- 2月16日 神戸なごみの家
- 2月27日 かあさんの家
- 3月 3日 愛逢の家



[オンラインヒアリング]

\*評価審査委員：高橋紘士、市原美穂、松本京子、竹熊千晶、金居久美子、岡本峰子、山口健太郎

## ② 研修会の実施

### ◎全国合同研修会の開催

#### 第10回ホームホスピス全国合同研修会

「つながりを編み出す～地域共生社会とは」

期日：2021年11月20、21日

会場：宮崎県宮崎市 MRTmicc

オンライン配信

内容：

11月20日

「ホームホスピスが生まれたまち」 市原美穂

「なぜ、地域共生社会なのか～その実現に向けて～」 野崎伸一 氏

「まちを住みこなす」 大月敏雄 氏

「ひとりにしない支援～伴走型支援とはなにか～」 奥田知志 氏

「つながりを編み出す」社会とは 野崎伸一氏/大月敏雄氏/奥田知志 氏

☆つながる時間～交流を深めましょう～ (会場のみ)

11月21日

「暮らしを支える医療人を育てる」 吉村学 氏

「どんな感情も大切な心のメッセージ」 副島賢和 氏

シンポジウム 0歳から100歳を超えて生き方と向き合う在宅医療

市橋亮一 氏/堤育子 氏/木戸恵子 氏

☆HALE たちばな見学会 (両日)





参加人数：会場 55 名（HH 関係者 40 名、一般参加 15 名）、オンライン 83 名

### 【参加者感想】

- ・それぞれの内容がとても深いものであり、時間が短く感じられた。
- ・座談会でフロアからの意見は、みなが思っていること。この研修会だからこそ、正直な現場の意見が出てくるのだと思う。
- ・定期的に会ってみんな話したいです。このような研修会で、また自分の現場に持ち帰って働くことができる気がする。
- ・親族の看取りや自分の心療内科のことでお世話になっているかかりつけの在宅診療医にこの研修会を紹介していただき、急遽参加を決めた。これからの自分の住まい方、暮らし方について悩み苦しんでいるところなのですが、多くの示唆を得ることができた。
- ・現在、鳥取で取り組んでいる事業に役立つアイデア、考え方で、ホームホスピスという概念にとらわれず『地域共生社会』というくくりで何をしていくべきか指針を得られた。若い人達がどうこの領域に入っていくか、自分のテーマとして深堀したい。
- ・災害住宅でもコミュニケーションが取れるように工夫されていることに感動。問題解決だけではない一緒に右往左往してくれる人という伴走型支援は、がん患者さんの支援でも言えることで、何が生きていくうえで大切なのかが分かった。社会全体がゆるい家族のようになっていいですね。
- ・少子高齢化、核家族、引きこもり、自殺など色々な問題を抱え、今後共生社会が大切であることを考えさせられた。
- ・久しぶりにオンラインではない研修会に参加し、話と共に伝わってくるものやその時の質問へのやり取りなど学ぶことができ嬉しかった。
- ・今回の研修では行政、医療介護職だけでなく、建築や教育など幅広い分野で、ともに人のしあわせを考えるとという視点で話を聞くことができた。ホームホスピスは年齢病名障害を問わずとあります。今後はますますこれを実現していくためのコラボレーションを進めていけるよう、まずは地域で頑張ろうと思った。



## ◎各支部活動

### (1) 研修会 (内部向け研修を実施)

#### ① 関東支部研修会

期日：2022年3月24日

オンライン開催

参加：7団体(全会員参加)、理事2名、事務局

内容：「コロナ禍でのケアについて」をテーマとし、各ホームホスピスからの報告を受けて意見交換を行った。コロナ禍での対策の共有や新規医療機関との連携についてのアドバイスなど活発な意見交換ができ、コロナ禍で孤立しがちな運営に関して、有意義な情報共有の場となった。



[関東支部]

#### ③ 西日本支部研修会

期日：2022年3月25日

会場：神戸なごみサロン+オンライン開催

参加：9団体(会場2団体)、リーダー養成研修生2名(会場1名)

ホームホスピスの学校修了生4名、理事3名、事務局

内容：「尼崎看取り町づくりの報告」愛逢の家

「ひなたの家の活動」ひなたの家

「暮らしの保健室活動」神戸なごみの家

活動報告についての意見交換の後、コロナ禍での対策の共有など活発な意見交換ができ、関東支部研修会同様、コロナ禍で孤立しがちな運営に関して、有意義な情報共有の場となった。



[西日本支部]

## ◎ホームホスピス実践者育成塾

期日：2022年7月1、2日

会場：小松市公会堂(石川県)・オンライン配信

内容：「排便のケア」榊原千秋氏

「ワークショップ」事例発表：ふさの家 東田敦子氏

「目からウロコの古武術介護」岡田慎一郎氏

「現場で活かす聞き書き講座」小田豊二氏・天野良平氏



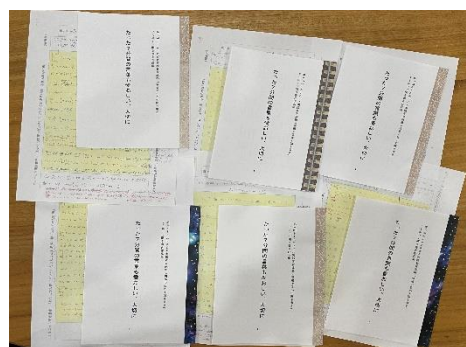
当日視聴人数：会場 38名 オンライン 62名





## 【参加者感想】

- ・古武術介護は、今後の介護に活かしてとても参考になった。
- ・聞き書きは、自身の人生が形として残ることがいいですね。小田先生の話おもしろかった！
- ・笑いあり、涙ありのあつという間の2日間だった。
- ・実際に頑張っている方や作ろうとしている方に会えてとてもあったかい思いをもらった。
- ・実践したいことばかりで、すぐにケアに活かしたい。
- ・対面で皆さんに会えて大変良かった。
- ・ふささんのお話しはとても具体的で、とても為になった。



7ミニッツ聞き書き作品

## ④ 人材育成

### ◎ホームホスピスの学校

ホームホスピスを始めたい人、またホームホスピスのことを学びたい人の為に、2つのコースを用意しました。「つくる」コースは、ホームホスピスの理念やケアの哲学および運営や管理についての座学と1カ月程度の現場実習で構成されます。また「まなぶ」コースは、理念や運営などの座学は「つくる」コースを共有し、現場実習を数日間としました。

- ・2期生 「つくるコース」9組14名 「まなぶコース」7名

2021年10月16日開校式

10月16日～11月6日 座学①・オンラインミーティング

11月 つくるコース オンライン面接

11月30日～12月16日 つくるコース 座学②

1月～ つくるコース 実習・事務研修

- ・3期生「つくるコース」8組20名 「まなぶコース」9名

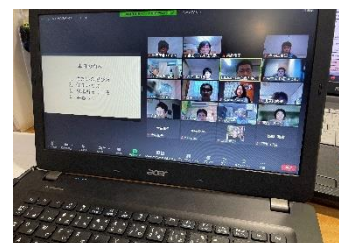
2022年5月31日開校式

6月4日～7月1日 座学①・オンラインミーティング

6月21日、22日 つくるコース オンライン面接

7月12日～7月28日 つくるコース 座学②

8月～ つくるコース 実習・事務研修



6[オンラインミーティング]



[事務研修]

## ⑤ 開設及び拠点整備

### ◎開設前現地指導

現地視察、メール、電話、オンラインによる相談を実施

相談内容：開設、運営、物件選定、改築設計、助成金、  
改築設計相談、団体設立のための広報活動相談 など

《日本財団ホームホスピスリーダー養成研修修了生》

#### ・現地視察、支援

2022年

- 2月25日 開設前視察 鹿児島県鹿児島市
- 5月 5日 開設視察 兵庫県姫路市（ホームホスピスおはな）
- 5月 6日 開設前相談 大阪府寝屋川市・豊中市
- 6月16日 物件視察 大阪府豊中市（NPO法人のぞみ）
- 7月 4日 物件視察 新潟県新潟市
- 7月30日 開設支援 福岡県糸島市 しずく 開設記念講演会（5月開設）
- 8月12日 開設前視察 神奈川県逗子市（NPO法人絆）
- 9月23日 開設支援 石川県小松市 もう一つの家ややさん 開所式



〔しずく開設記念講演会〕



〔改築中物件視察〕

《ホームホスピスの学校》

#### ・現地視察、相談

- 2021年12月7日 西東京市
- 2022年5月6日 大阪府寝屋川市
- 8月12日 神奈川県逗子市
- 9月25日 三重県伊勢市
- 9月27日 兵庫県神戸市



### ◎拠点整備前視察・相談

- ・もくれんの家（鹿児島県）
- ・は一との家（東京都）

### ◎新規開設

- 2022年1月「ホームホスピスおはな」新規（兵庫県姫路市）
- 2022年5月「ホームホスピスしずく」新規（福岡県糸島市）
- 2022年9月「もうひとつの家ややさん」新規（石川県小松市）



〔ホームホスピスおはな〕



〔ホームホスピスしずく〕



〔もうひとつの家ややさん〕



## ⑥ 運営にかかわる相談・基盤づくり

### ◎相談支援・ヒアリング

#### ≪視察・相談≫

- 2021年10月30日 にじいろのいえ
- 2022年 4月 7日 フローラファミリー
- 5月 5日 癒居、ふさの家
- 6月16日 風の葉
- 8月11日 かぞくのいえ、結びの家くるみ



#### ≪電話・メール等による相談≫

主な内容：新規開設、閉鎖、継承、助成金申請、運営、広報、新型コロナ感染予防対策など

- ・宝塚つ・む・ぐの家（兵庫県）・愛逢（兵庫県）・樺（東京都）・栃木かあさんの家（栃木県）
- ・もくれんの家（鹿児島県）・おけたん宇佐（大分県）・紀州やわらぎの家（和歌山県）
- ・われもこう（熊本県）・安庵（宮崎県）
  
- ・安庵（宮崎県）…2022年1月 ホームホスピス宮崎へ譲渡
- ・かぞくのいえ（福島県）…2022年9月 結びの家くるみへ譲渡
- ・癒居（兵庫県）…2022年6月閉鎖

### ◎ 実践者スキルアップ研修

ケアを担っているスタッフが希望する他のホームホスピス（現在は下記の5カ所が受入機関）

もしくは、事務担当スタッフが協会事務局にて1日～2週間程度研修

受入機関…ホームホスピスカあさんの家・ホームホスピス神戸なごみの家・ホームホスピス愛逢の家  
ホームホスピスたんがくの家・ホームホスピスわれもこう・ホームホスピスひなたの家  
協会事務局

- ・2021年12月20日 神戸なごみの家  
研修先：ホームホスピス宮崎  
内容：認定NPO法人取得に向けての事務研修
- ・2021年1月13日 ひなたの家  
研修先：ホームホスピス宮崎（オンライン実施）  
内容：医療的ケア児のための事業計画について
- ・2022年5月30日 樺  
研修先：全国ホームホスピス協会  
内容：今後の運営強化について



## ◎代表者会議

各ホームホスピスの現状報告

2022年3月24日関東支部研修会、3月25日西日本支部研修会にて実施

## ◎緊急支援

なし

## ⑦ 調査研究と普及

- ・ホームホスピスについての新聞掲載記事等の収集、管理
- ・ホームホスピスの基準（英語版）の作成
- ・新型コロナウイルス感染予防対策報告会を実施



〔感染予防対策報告会〕

## ・インフォメーション

### ◎定時社員総会

日時：2021年11月29日（月）17：30～18：30

於：WEB

決議事項：

第1号議案 第7期(2020年10月1日～2021年9月30日)

事業報告書承認の件

第2号議案 第7期(2020年10月1日～2021年9月30日)

決算報告書承認および監査報告の件

報告事項：第8期(2021年10月1日～2022年9月30日)事業計画及び予算



### ◎理事会の開催

第1回理事会 2021年11月16日 場所：オンライン

議事：

- ① 理事の増員について
- ② 第10回全国合同研修会 in 宮崎について
- ③ レビューについて

第2回理事会 2021年11月29日 場所：オンライン

議事：

- ① 総会資料について
- ② 新理事の推薦について
- ③ ホームホスピスの学校について
- ④ レビューについて
- ⑤ 第10回全国合同研修会 in 宮崎について

第3回理事会 2021年12月27日 場所：オンライン

議事：

- ① 新規の正会員の承認について
- ② 認定更新について
- ③ 来年度のホームホスピスの学校について
- ④ 視察先について

第4回理事会 2022年1月13日 場所：オンライン

議事：

- ① 4月以降のスケジュールについて（HHの学校等）
- ② 支部研修会について

第5回理事会 2022年4月21日 場所：オンライン

議事：

- ① 第6回育成塾について
- ② 第11回全国合同研修会について
- ③ 支部研修会について

第6回理事会 2022年5月19日 場所：オンライン

議事：

- ① 第3期ホームホスピスの学校について
- ② 第11回全国大会 in 札幌について

第7回理事会 2022年8月4日 場所：オンライン

議事：

- ① レビューについて
- ② 物件視察について
- ③ ニュースレター作成について
- ④ 第11回全国大会 in 札幌について
- ⑤ 第9期事業計画について

第8回理事会 2022年9月29日 場所：オンライン

議事：

- ① 第9期事業計画・予算について
- ② 第11回全国大会 in 札幌について
- ③ 物件視察について

## ◎事務局体制

事務局長：黒岩雄二、事務局：岡田瑞穂、岩切知峰

理事会記録：古野たづ子

・事務局が本格的に動き始めてから7年目になります。協会の活動と共に、業務も増えてきました。会員名簿の管理、理事会の運営、相談対応、情報発信、研修の企画などに加え、今期からホームホスピスの学校の運営も始まりました。その他、レビューの調整、日本財団への助成金申請のサポートなど事務局の業務は多岐にわたっています。

・コロナ感染の拡大に伴い、会議や研修などのほとんどがオンラインでの開催となっていましたが、



今期から対面の研修会も増え、オンライン参加者と会場をつなぐハイブリッドでの開催となりました。事務局は、会場運営とオンラインのホストとしての役割も増え、そのノウハウも蓄積されましたが、ますます多忙を極めた期間でした。

・主に非営利組織の運営や資金調達に関する専門家としての「ファンドレイザー」の資格保持者が前期に2名となりましたが、1名（黒岩）が今期「認定ファンドレイザー」となりました。もう1名は准認定ファンドレイザー（岡田）です。

### 【受講研修】

2021年

8月1日 JAMSNET-SWISS「～生きる～を支え合う」（オンライン）

12月4日 ホームホスピス北海道市民フォーラム(オンライン)

### ◎広報活動

- ・ニュースレターたんぼぼ7号の発行
- ・ホームホスピス協会パンフレット制作、配布
- ・ホームページ（担当：黒岩雄二・岩切知峰）
- ・Facebook（担当：岡本峰子・黒岩雄二）
- ・Instagram(担当：岡田瑞穂)
- ・Twitter(担当：岡田瑞穂)



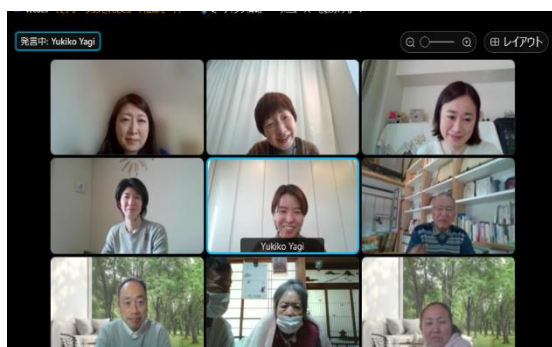
### ◎メットライフ生命 CSR 活動

- ・雑巾寄付 700枚（希望9団体へ配布）
- ・ホームホスピスオンライン聞き書き

2021年11月5日 聞き書き講座① 講師：小田豊二氏 社員15名  
（宿題）VTR視聴して聞き書き体してみよう

12月10日 聞き書き講座②

2022年1月～3月 3チームに分かれてオンライン聞き書き、製本  
（ゆずの家・咲愛の家・フローラファミリー）



収入の部	第8期予算	第8期決算	備考(第8期決算)
助成金収入	22,320,000	22,320,000	日本財団助成金
会費収入	3,220,000	2,335,000	正団35 正個4 賛助39
レビュー審査収入	300,000	150,000	更新レビュー3カ所
研修参加費収入	1,000,000	656,000	全国、育成
ホームホスピスの学校受講料収入	2,800,000	2,559,000	つくる18万*7名まなぶ2万*7名(2,3期)
雑収入		225	受取利息
当期収入合計	29,640,000	28,020,225	
前期繰越金	42,449,673		

支出の部	第8期予算	第8期決算	備考(第8期決算)			
事業費	評価及び認定(レビュー)	1,300,000	646,423	旅費・レビュー審査日当		
	実施 研修会 の	年次大会	2,300,000	2,171,778	11/20,21 宮崎・ハイブリッド	
		支部活動費	1,400,000	72,000	九州支部・西日本支部	
		育成塾	1,250,000	1,610,970	2日間研修	
		人材育成	ホームホスピスの学校	900,000	1,979,737	講師・実習受け入れ団体謝金、 旅費、現場実習団体指導者会議、チラシ制作
	開設及び拠点整備	1,200,000	1,194,454	開設前相談・視察 8万*2名*10カ所		
	相談・ 基盤づく る	運営にかかわる	相談支援・ヒアリング	600,000	404,334	運営相談視察
		代表者会議	560,000	7,300	会議運営・旅費	
		実践者スキルアップ研修	135,000	70,000	旅費補助3万*2名 受入委託費5千*2カ所	
		緊急支援	450,000	0	災害時支援(人材派遣旅費、送料等)	
	調査研究と普及	500,000	242,420	データ収集・実態調査 ホームホスピスの基準英訳、パンフ作成		
	事業費総額	10,595,000	8,399,416			
	管理費	人件費	6,000,000	5,535,860	事務局給与1名・パート1名(社保含む)	
家賃		840,000	840,000	事務局家賃、光熱費、事務機器使用料		
事務用品費		50,000	29,198	事務用ソフトウェア		
消耗品費		30,000	22,569	コピー用紙・文具		
会議費		100,000	140,800	理事会会場使用料		
旅費・交通費		1,800,000	245,480	理事会・事務局		
通信・運搬費		200,000	239,960	切手・レターパック・宅急便・携帯電話		
業務委託費		2,640,000	2,700,000	HHM 事務委託(人件費)		
広報費		500,000	100,455	ホームページ更新・名刺 ホームホスピスの周知啓発(パンフレット)		
租税公課		84,000	21,600	収入印紙・地方税		
雑費		600,000	506,192	交際費、支払手数料、業務委託等		
減価償却費		140,000	0	倉庫、パソコン、撮影機材等		
予備費	6,061,000	8,129,000	日本財団助成金返還金(未払い予定額)			
管理費総額	19,045,000	18,511,114				
当期支出合計	29,640,000	26,910,530				
収支差額		1,109,695				
当期繰越金		43,559,368	予定額			

## 監査報告書

一般社団法人全国ホームホスピス協会  
代表理事 市原美穂 様

1. 監査実施年月日：令和4年11月14日
2. 監査に供した書類：事業報告書ならびに財務諸表・帳簿・証拠書類等

監事は、一般社団法人全国ホームホスピス協会定款第38条に基づき、第8期（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の業務監査及び会計監査を行った。  
理事の業務執行の状況に関しては、必要に志し第8期の理事会に出席して確認し、本日事業報告書の内容を確認した。会計については、財務諸表（活動計算書・貸借対照表・注記・財産目録）・帳簿・証拠書類等を閲覧して照合し、質問等により詳細を確認した。

その結果、理事の業務執行状況については、定款及び事業計画に基づき適正に執行され、収支報告及び各帳簿は相違なく適正に執行処理されていることを認めためて報告いたします。

令和4年 11月 14日

監事 岡本峰子 



## 第3号議案

### 第9期役員選出(案)

役職名		氏名
理事 会	理事	市原 美穂
	理事	松本 京子
	理事	竹熊 千晶
	理事	高橋 紘士
	理事	金居 久美子
	理事	山口 健太郎
	監事	岡本 峰子

一般社団法人全国ホームホスピス協会定款より

#### 第5章 役員

第18条 当法人に次の役員を置く

(1)理事3名以上9名以内

(2)監事1名以上3名以内

2 理事のうち1名を理事長、副理事長及び専務理事をそれぞれ1名置くことができる

(役員を選任)

第19条 理事及び幹事は、社員総会の決議によって選任する

2 理事長、副理事長及び専務理事は、理事会の決議によって、理事の中から選任する

(役員任期)

第22条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する  
定時社員総会の終結までとする。但し、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時  
社員総会の終結までとする。但し、再任を妨げない。



目的	事業名	事業内容	
③ 人材育成	ホームホスピスの学校 ～単位制～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン講義と現場実習・事務研修・育成塾を組み合わせたプログラム</li> <li>・ホームホスピスを立ち上げたい人、理念(ホームホスピスマインド)を学び、ケアに活かしたい人、既存ホームホスピスのスタッフ、ホームホスピスで働きたい人を対象</li> <li>【講義】(オンライン研修)</li> <li>・ホームホスピスの基準に沿ったケアの実践と運営</li> <li>【実習】(認定ホームホスピスでの実習・〇〇団体)</li> <li>・ホームホスピスの基準に沿ったケアの実践</li> <li>【事務研修】(協会事務局にて講義・演習)</li> <li>・組織や運営について</li> <li>・開設相談に乗りながら、立ち上げまでをサポート</li> <li>・修了生の交流、勉強会の実施</li> </ul>	4期10月 5期5月
	スタッフ雇用・育成支援	ホームホスピスで働くスタッフの人材獲得と育成の仕組みについて、先進事例や実績のあるシステムなどを調査・研究し、雇用・育成支援プログラムの開発と導入を目指す。	2023年 4月～
④ ホームホスピス 開設支援及び 拠点整備	開設と拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物、組織、地域、運営、助成金申請アドバイス</li> <li>・現地視察 ・法人設立支援</li> <li>・物件環境確認</li> <li>・開設記念事業への協力</li> <li>・防災マニュアルの整備</li> </ul>	
り ⑤ 運営にかかわる 相談及び基盤づく	相談支援 現状把握のためのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営や事務、経理等のアドバイス</li> <li>・地域との関係づくり</li> </ul>	
	実践者スキルアップ研修	ケアを担っているスタッフのスキルアップを図る為に、他のホームホスピスや協会事務局で学ぶ	
	緊急支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地視察</li> <li>・災害支援</li> </ul>	
と ⑥ 普及・研究の調	講師派遣	・他団体主催事業での講演	
	人材獲得・育成に関する調査 研究 基金の設立に関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例や実績のあるシステムに関する調査及び研究</li> <li>・ホームホスピス支援基金の設立を目指した調査及び研究</li> </ul>	
⑦ 組織運営 (事務局)	社員総会の開催 理事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務執行の決定と監督</li> <li>・議事録の作成</li> </ul>	
	会員管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入会にあたっての理事会の承認</li> <li>・会費の確認</li> <li>・賛助会員の呼びかけ</li> </ul>	
	商標登録運営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定証の発行</li> <li>・無断で使用できないことを告知</li> </ul>	
	広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの充実</li> <li>・協会ニュースレター(たんぽぽ)の発行</li> <li>・協会パンフレット製作</li> </ul>	
	経理業務	・会費、助成金の管理	
	その他	・メットライフ生命 CSR 活動 聞き書きボランティア	



## 第 9 期予算

2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

収入の部	第 8 期予	第 8 期決算	第 9 期予算	備考 (第 9 期予算)
助成金収入	22,320,000	22,320,000	23,670,000	日本財団助成金
会費収入	3,220,000	2,335,000	3,220,000	正団 45 正個 7 準団 10 賛助 30
レビュー審査収入	300,000	150,000	300,000	10 万*3 カ所
研修参加費収入	1,000,000	656,000	1,000,000	全国、育成
ホームホスピスの学校受講料収入	2,800,000	2,559,000	2,800,000	つくる 18 万*7 名、まなぶ 2 万*7 名(4, 5 期)
寄付収入				
雑収入		225		受取利息
当期収入合計	29,640,000	28,020,225	30,990,000	
前期繰越金	42,099,673		43,559,368	

支出の部		第 8 期予算	第 8 期決算	第 9 期予算	備考 (第 9 期予算)	
事業費	評価及び認定(レビュー)	1,300,000	646,423	1,300,000	旅費・レビュー審査日当	
	実施 研修会 の	年次大会	2,300,000	2,171,778	3,000,000	10/29,30 札幌・ハイブリッド
		支部活動費	1,400,000	72,000	1,200,000	30 万×4 支部
		育成塾	1,250,000	1,610,970	2,000,000	2 日間研修
	人材育成	ホームホスピスの学校	900,000	1,979,077	2,000,000	100 万×2 回 講師・実習受け入れ団体謝金、旅費、現場実習団体指導者会議、チラシ制作
	開設及び拠点整備		1,200,000	1,194,454	1,600,000	開設前相談・視察 8 万×2 名×10 か所
	相談・運営にかかわる 基盤づくり	相談支援・ヒアリング	600,000	404,334	800,000	運営相談視察 8 万×2 名×5 か所
		代表者会議	560,000	7,300	0	会議運営・旅費 28 万×2 支部
		実践者スキルアップ研修	135,000	70,000	135,000	4.5 万×3 名
		緊急支援	450,000	0	200,000	災害時支援(人材派遣旅費、送料等)
	調査研究と普及	500,000	242,420	500,000	データ収集・実態調査 ホームホスピスの基準英訳、パンフ作成	
事業費総額		10,595,000	8,398,756	12,735,000		
管理費	人件費	6,000,000	5,547,241	6,500,000	事務局給与 1 名・パート 1 名(社保含む) 理事会記録雑給、法定福利費含む	
	家賃	840,000	840,000	960,000	事務局家賃、光熱費、事務機器使用料	
	事務用品費	50,000	29,198	50,000	事務用ソフトウェア	
	消耗品費	30,000	22,569	30,000	コピー用紙・文具	
	会議費	100,000	140,800	400,000	理事会会場使用料	
	旅費・交通費	1,800,000	245,480	1,800,000	理事会・事務局	
	通信・運搬費	200,000	239,960	200,000	切手・レターパック・宅急便・携帯電話	
	業務委託費	2,640,000	2,700,000	2,700,000	HHM 事務委託	
	広報費	500,000	100,455	150,000	ホームページ更新・名刺 ホームホスピスの周知啓発(パンフレット)	
	租税公課	84,000	21,600	84,000	収入印紙・地方税	
	雑費	600,000	506,192	600,000	交際費、支払手数料、業務委託等	
	減価償却費	140,000	0	140,000	倉庫、パソコン、撮影機材等	
予備費	6,061,000	8,129,000	4,641,000	8 期決算額は日本財団への助成金返還予定額		
管理費総額		19,045,000	18,522,495	18,255,000		
当期支出合計		29,640,000	26,921,251	30,990,000		
当期繰越金			43,559,368			